

がんの治療について

Q. 治療にはどんな方法があるの？



A: 外科手術、放射線治療、薬物療法、免疫療法などがあります。



手術療法

がんを外科的に切除します。内視鏡を使用することもあります。

放射線治療

がん放射線を当てることにより、がんを消滅させたり、小さくしたりします。

薬物療法

薬を用いて治療を行います。薬の種類は、細胞障害性抗がん薬(いわゆる抗がん剤)、分子標的薬、ホルモン薬などがあります。

免疫療法

免疫本来の力を利用して、がん細胞の増殖を抑えます。

免疫療法と称している治療でも、治療効果や安全性が科学的に証明されていない治療法があります。科学的根拠に基づいた免疫療法で使用される主な薬は、「免疫チェックポイント阻害薬」です。

標準治療

ご存じですか？

\POINT!/\

標準治療とは、科学的根拠(エビデンス)に基づき、**現時点で患者さんに最も効果が期待でき、安全性も確認された最善の治療**のことです。多くの場合、医師の勧める治療法は、この標準治療に基づいています。

Q. 病気や治療の情報は、どうやって集めたらいい？

A：信頼できる相談先から情報を得ましょう。

① 主治医や医療スタッフの話を聞く。

あなたの病気について、最も多く情報を持っています。

② がん相談支援センターに相談する。

相談員と話すことで情報の探し方や入手先を聞いたり、問題が整理できる場合もあります。

③ インターネットを利用する。

利用する場合は、**情報の発信元の信頼性や、その情報が自分に当てはまるものなのかを見極めることが大切です。**



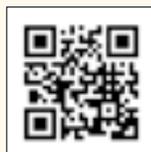
\POINT!/\

下記のサイトは情報の信頼性が高く、インターネットを利用する際におすすめです。

国立がん研究センター がん情報サービス
<https://ganjoho.jp/public/index.html>



日本対がん協会
<https://www.jcancer.jp/>



Q. 医療スタッフと信頼関係を築くにはどうしたらいい？

A：まずは、自分の気持ちを率直に伝えてみましょう。

病気の自覚症状や困っていること、心配なことなどは、あなた自身にはわかりません。主治医や医療スタッフに、気持ちを率直に伝えることにより、信頼関係が築かれていくことと思います。

聞きたいことや伝えたいことを話す際は、あらかじめ箇条書きのメモに整理しておく、聞いた内容やその時の自分の気持ちなども書き留めておくといいでしょう。



POINT! /

大分医療連携ノート

がん診療連携拠点病院等（P 5～6 参照）では、がん（肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、肝臓がん、前立腺がん）の手術を受け、一定の基準を満たした患者さんを対象に「地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）」を作成しています。

退院後の経過について、かかりつけ医療機関と「大分医療連携ノート」を用いて情報共有し、治療の協力体制づくりを推進しています。



Q. セカンドオピニオンとは？

患者さんが納得のいく治療方法を選択することができるように、治療の進行状況や次の段階の治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別の医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。

セカンドオピニオンは、担当医を替えたり、転院したり、検査や治療を受けたりすることだと思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、**新たな検査や診察を行うことはありませんので、ご注意ください。**

セカンドオピニオンを受ける場合は、ひとりで行くよりもあなたをサポートしてくれる方と一緒にいくことをお勧めします。

主治医にセカンドオピニオンを受けていることを言い出しづらい時は、まずはがん相談支援センターに相談してみましょう。

セカンドオピニオンの費用



\POINT! /

セカンドオピニオンは、**健康保険が適用されません。**

料金は、医療機関によって異なります。目安としては、30分～60分程度の相談で1万円～2万円程度となっています。医療機関によって異なりますので、事前に確認することをお勧めします。

※以下のホームページで各がん診療連携拠点病院・協力病院のセカンドオピニオンの実施状況を知ることができます。

大分県がん診療連携協議会(大分大学医学部附属病院腫瘍センター)

<https://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/shuyo/index.html>



《セカンドオピニオンを希望する場合の流れ》

担当医の診断と治療方針をよく聞く。



セカンドオピニオンを受けたいという希望を担当医に伝えて、紹介準備をしてもらう。(紹介状や診断情報をもらう)



希望先の医療機関に受診予約の問い合わせをする。



セカンドオピニオンを受けた後は、必ず担当医に報告し今後のことを相談する。

